



発行所 財団法人兵庫県消防協会 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号 編集発行人 関山 巧 定価 1部金44円 題字 井戸知事

火は消した？  
いつも心に  
きいてみて

平成十六年度

日本消防協会定例表彰式

平成十六年度日本消防協会定例表彰式が、二月十日(木)午後一時より東京虎ノ門の日本消防会館ニッショーホールにて盛大に開催されました。

国歌斉唱、消防殉職者に対する黙祷に続き、徳田日本消防協会会長の挨拶があり、会長から受章代表者に表彰状が授与されました。その後、内閣総理大臣の祝辞、受章者代表謝辞があり、万歳三唱により閉会しました。なお、本県の受章者・団体は次のとおりです。

(敬称略)

- 表彰旗 一団
功績章 三団
竿頭章 四三名
精績章 一〇四名
勤続章 一三七名
優良婦人消防隊 一隊
優良婦人消防隊員 一名

Table listing award recipients by fire department, including names and positions such as 団長, 副団長, 分団長, 班長, 副班長, 班員, 副班員.

Table listing award recipients by fire department, including names and positions such as 団長, 副団長, 分団長, 班長, 副班長, 班員, 副班員.

Table listing award recipients by fire department, including names and positions such as 団長, 副団長, 分団長, 班長, 副班長, 班員, 副班員.

Table listing award recipients by fire department, including names and positions such as 団長, 副団長, 分団長, 班長, 副班長, 班員, 副班員.

Table listing award recipients by fire department, including names and positions such as 団長, 副団長, 分団長, 班長, 副班長, 班員, 副班員.

(一面よりつづき)

Table of Fire Department Chief and Staff names for various districts including Niigata City, Hiroshima City, and others.

Table of Fire Department Chief and Staff names for districts such as Agatsubo, Takayama, and others.

Table of Fire Department Chief and Staff names for districts like Yamato, and Honjo, with a decorative graphic of a bouquet.

朝来町消防団長 金田 正夫



本町消防団の歴史は江戸時代にさかのぼり、当時は「火消組」と称されていた...

消防団 今昔

38



明治三十年代に使用されていたポンプで、現在も使用可能な状態で保管されています。

消防団が「まず守る」という意識がとて強く感じられます。団員たちが、日頃から災害などに備え、日夜訓練に励む姿には、頭の下がる思いです。

消防団が「まず守る」という意識がとて強く感じられます。団員たちが、日頃から災害などに備え、日夜訓練に励む姿には、頭の下がる思いです。



昔の出動姿



川西市消防団長 古谷 茂樹

川西市の消防団の歴史は古く、その記録は江戸時代までさかのぼります。江戸萬治元年、火消し役制度に伴い、川西市でも火

現在の消防団は昭和二十九年の町村合併に伴い、川西市消防団として三十分団、団員数六七二名で発足しました。昨年は発足五十周年を祝して、記念フェアを消防本部で開催しました。

波賀町消防団故西中部長のご遺族に遺児育英金贈呈。昨年の台風二十三号で殉職された波賀町消防団西中部長のご遺族に対する遺児育英金の抛出のお願いをいたしましたところ、全県の消防団、消防関係者の方々から四百万円に上る御厚志をいただきました。



「安全・安心の  
まちづくりをめざして」  
姫路市網干消防団

三輪 幹男 団長



網干は姫路市の南西部に位置し、揖保川の下流域にあって、古くから漁業・商工業が栄えた歴史と文化の香り高い町です。また、アボシという地名は、津の宮（現魚吹神社）で魚供養のため、網を干して村人がお祭りをしたことによると言われています。

J Aを退職後は、農区長や地域の役員などの要職に活躍されるかたわら農業に従事され、野菜や花の栽培には、我が消防団を導き育てるように愛情を注ぎ、収穫時には近隣の主婦から多数の注文が入るそうです。また、詩吟や演歌をこよなく愛し、北島三郎の一年輪・歩・竹」を熱唱されるその姿は、団長の人生哲学そのものです。その心は、我が郷土の網干をこよなく愛し、網干に誇りを持ち網干をさらに安全で安心して

### わがまちの団長さん

122



暮らせるよう団員と一丸となつて励んでおられます。昨年の台風二十三号で県北部の被害に対しても、我が身のごとくいち早く被災地に赴き、地元消防団と共に被災者の救援活動を行なっておられました。そんな団長は、団員から父親のように慕われ、家庭ではかわいなお孫さんに囲まれた、やさしいお爺さんです。

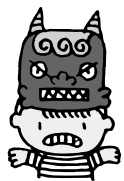
神戸市灘消防団  
伊藤 眞彦 団長



神戸市東部にある灘区は、四季の自然が美しい六甲山が北にそびえ、その六甲山の裾野に湧く宮水により銘酒として名高い灘の酒蔵が南に並び、神戸港と大阪・東京を結ぶ東西交通の要衝であります。この自然に恵まれ、歴史と伝統を培ってきた灘の町を管轄する神戸市灘消防団総勢一四〇名を率いるのが伊藤団長です。

団長は昭和五十六年に灘消防団に入団され分団長・副団長を歴任後、永年の消防団員としての経験と実績が評価され、平成十六年四月神戸市灘消防団長に就任されました。仕事は、神戸市立王子動物園の近くで生命保険の代理店を経営されており、灘の町を東へ西へ颯爽と大型スクーターで駆け、業務に励んでおられます。

昨年は大きな台風がいくつも上陸し、兵庫県下でも大きな被害を受けました。さらに新潟県中越地震の発生、そして年の暮れにはインド洋で津波が発生し多くの方々犠牲になりました。ご存知のように神戸市灘区は



## 地区通信

### 消防操法大会を振り返って

今年の七月、淡路地区消防操法大会が洲本市で開催されました。この大会には、五色町消防団も六年ぶりに消防ポンプ自動車部で参加しました。結果を先に言いますと、残念ながら出場三チームのうちで三番目でした。しかし、結果よりも、大会にいたるまでの訓練期間に、出場選手と訓練を支える団員との間でチームワークやコミュニケーションが生まれて、たいへん有意義なものとなりました。

今年、町内にある五分団の中から都志分団の団員が選手として出場することになりました。大会に出場できるのは五人ですが、不慮の事態も予測し、補充要員も含めて十人の若い団員が選抜されました。平均年齢は二十八歳。平均団歴は四年八カ月で、もちろんみんな消防操法大会は初めての体験です。

訓練は週二回のペースで、四月から大会直前まで二十八回行いました。訓練時間は、夜の八時から十時までの二時間。みんな昼間仕事をしていますから、かなりしんどかったことでしょう。けれども、一人の落伍者もなく、十人全員が最後まで訓練をやりとげてくれました。当然のことながら、訓練を始めた頃は所作や器具の取り扱い方がきちんとしておらず、弱々しく、このまま大会に出ても大丈夫だろうか、といふ声もありました。しかし、訓練の回を重ねるごとに上達する姿を見るにつけ、「さすが若いしや。ようやんのう」と周囲の期待感も高まってきました。

一方、訓練を補助するために出動した団員は、延べ人数にすると七〇〇人近くにもなりました。本部役員や選手が所属する都志分団の団員は毎回出動し、他の四分団の団員も交互に出動するという応援体制でした。事前準備と訓練後の片付けのため、選手よりも早く来て遅く帰りますので、しんどさは選手同様かなりのものでした。でしょう。

こうして、いよいよ大会本番。前述したように成績は振るいませんでしたが、出場選手、補欠にまわった選手、応援に参加した団員一人ひとりの顔には、とにかくやる気は伝わっていました。



消防操法大会を振り返って  
五色町消防団

## 消防団服

- 甲種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
  - 乙種 刺子・木綿
- ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド

附属品一式

キンバイホース 兵庫県特約店

### 株式会社 三浦 消防

姫路市竜野町1丁目1番地  
電話 (姫路) 92-0447  
(0792) 98-8663



# 北から南から

## 「活力にあふれ風格のある 住みよいまち福岡」

### 福岡市消防団

福岡市は、播磨平野の南西部の一角を占め、周囲の多くを緑の山に囲まれた盆地形状で、中央部には清流市川が流れ、中国縦貫道路と播磨連絡道路が交差するなど、交通の便が非常に良いことで知られています。現在人口は約二十万人で漸増傾向にあります。

古くから交通の要衝に位置していることから、町内各地に由緒ある神社や寺があり、国・県が指定する重要文化財も各地に点在しています。特に神積寺の薬師如来坐像は国の重要文化財に指定されています。

また、自然環境にも非常に恵まれており、町の北部には県下八景に選出された七種(ななこ)の滝のほか、周辺にも大小合わせて四十八の滝があり、四季を通じて多くの観光客が訪れます。

さらに、七種山の麓には、自然に親しんでいただけの青少年野外活動センターがあり、山小屋・キャンプサイト・炊事棟・食事棟などの施設が設けられています。

このような豊かな風土と歴史



七種の滝

が、食べてみれば、ヘルシーで独特の香ばしさが人気を呼んでいます。

を背景に数々の偉人を輩出してきましたが、特に顕著な偉業を現し文化勲章を受章した二人は、世間にも広く知られているところである。一人は民俗学を学問として確立した民俗学の父、柳田國男です。生家の保存とともに記念館を開設し、一般の方々にもご覧頂けるようになっています。もう一人は船舶工学で大型タンカーの建造を可能にした吉識雅夫です。お二人とも福岡町名誉市民として登録され、永くその功績を称えています。

さて、福岡町の産業はといえますと、交通の便が良いという地の利を活かし、西部に福岡工業団地、福岡企業団地があり、東部には福岡東部工業団地があります。市街地には大型店舗の相次ぐ出店や、宅地の開発など活気あふれる町となっています。

また、町の特産品には「もちむぎ麺」があります。もちむぎは、一般的な麺に使用される小麦に比べ灰分が多く、高タンパク・高ミネラルで、ペーパグルカンを多く含んでいるため、コレステロールを低下させる働きがあります。

一見するとそばのようですが、食べてみるともちもちとした食感があり、ヘルシーで独特の香ばしさが人気を呼んでいます。



特産品の「もちむぎ麺」

キャッチフレーズにはこうあります。

「清き水と豊かな実りに育まれたふる里の旨いもの、そばにあらず、うどんにあらず、麺の中の逸品。もちむぎ麺。」

もちむぎを使った関連商品も多くございますので、是非一度ご賞味ください。

▼もちむぎの館ホームページ  
<http://www.mochimugi.jp/index.html>

## 全国中学生「防火・防災に関する」 作文コンクール入賞作品

### ◎佳作

中町立中町中学校  
三年 吉水 珠里さん

私の住んでいる中町は、都市でもなく、過疎地でもなく平凡な町です。しかし、自然があふれていて、人々の人情も厚い、とても温かな町です。そんな中町の自然や町民を災害から守ってくれているのが消防団の方々です。消防団は各部落にあり、地元で就職されている男の人は青年団を経て消防団へと、ある年齢まで勤めなければいけません。火事や災害の時は昼夜問わず、すばやく出動して頂いています。そして防火週間・年末警

## 地区通信

### 台風二十三号による 西脇市への救援ボランティア

#### 北播消防協議会

西脇市民会館に集結した団員



西脇市民会館に集結した団員

活動中の団員



活動中の団員

の被害をもたらしました。北播磨地域においても、河川の増水による住宅の浸水、道路の冠水により住民への避難勧告が発令されました。特に北播磨地区で最大の被害を受けた西脇市では、加古川とその支流の杉原川が氾濫し、死者一名、負傷者三名、住宅の床上浸水九一〇戸、住宅以外の床上浸水二八九棟、避難勧告三地区六〇一世帯一、八〇三人、停電一、三八〇戸という甚大な被害が発生しました。

西脇市消防団は、被害を最小限に引き止めるべく救助や災害復旧に全力を挙げて取り組み、長期間にわたる活動で延べ二七〇〇人以上が出動しましたが、被害の傷跡は深く復旧に相当の労力が必要な状況であったため、北播消防協議会として西脇市へ

にはならないと強い意志を持ってほしいです。私には六人の家族がいます。その中には体の不自由な祖父や祖母がいて、もし洪水や火災などが起これば逃げ遅れることは目に見えています。しかし、皆大切な家族なので一人として失うことは考えられません。でも、私はその時は消防団員さんがすぐに駆けつけてくれて助けてくれると信じています。中町の消防団の方々には私達町民のことを考えてくれて信頼できる人ばかりだからです。

これからは先中町でどんな災害が起こるか分かりませんが、消防団員さんへの感謝を忘れずに、中町の人々と消防団の皆さんの信頼関係をより一層深めたいです。防火・防災に努めていきたいです。そして私達の住む中町をもっと安全で平和な町にしたいと思っています。

救援ボランティアを派遣しました。「北播は一つ」を合言葉に、北播消防協議会六支部(三木・小野・加西・美築・加東・多可)より消防団員一三名、ポンプ車一台、小型動力ポンプ七台が十月三十一日、災害復旧に向け出動しました。

午前七時三十分、西脇市民会館に集結し、内橋西脇市長、尾上北播消防協議会長あいさつの後、各支部被災地域へ西脇支部(二二五名)と共に、道路や側溝に堆積した土砂の除去作業を行いました。道路上は土砂が取り除かれていましたが、側溝内は土砂が堆積しており、スコップ等で取り除き、土のう袋に詰め込むなど大変な労力を要する作業でありました。救援ボランティアに参加した各団員とも活動服をドロドロにしながら、予定時間いっぱいまで活動しました。また市内の各住宅では、後片付けに追われる住民から我々に対して、あたたかい感謝の言葉をたくさんいただきました。

このたびの西脇市への救援ボランティアで再認識した大規模災害への応援体制の重要性、水害への備え等、今後の防災活動に活かしていきたいと思っております。

### 編集後記

暦の上では立春をすぎましたが、まだまだ寒い日が続いております。いかがお過ごしでしょうか。

今月号では、第五十七回日本消防協会定例表彰受章者の皆さんを掲載しております。心からお祝い申し上げます。また、消防団今昔には朝来町消防団長金田正夫さん、川西市消防団長古谷茂樹さんよりご寄稿いただきました。ありがとうございます。